

平成30年度 学校関係者評価書

玉幡小学校 学校関係者評価委員会

○ 学校関係者評価委員会の経過

- 1 日時 平成31年2月6日(水) 午後2時50分～4時00分
- 2 出席者 学校評議員 鈴木澄雄 志村俊光 村松まゆみ 伊藤陽子
PTA代表 河野昭彦(会長) 湯本幸代 松沼貴子(2名とも副会長)
学校側 望月和彦(校長) 長谷川佳代(教頭) 杉山たみ子(教務主任)

3 内容

- ①学校より、教職員の自己評価・児童アンケート・保護者アンケートの結果と達成状況、今後の改善策の説明
- ②意見交換
- ③自己評価書の改善策について

4 学校関係者評価の結果

◆自己評価書の項目ごとの分析と改善策について

- | | |
|----------------------|-------|
| 1 全体評価について | 妥当である |
| 2 項目ごとの評価結果 | |
| Ⅰ学校教育目標に関して・学校経営について | 妥当である |
| Ⅱ学校運営について | 妥当である |
| Ⅲ学習指導について | 妥当である |
| Ⅳ生徒指導について | 妥当である |
| Ⅴ地域との連携について | 妥当である |
| 3 まとめと課題について | 妥当である |

5 意見、感想等

○教職員の自己評価結果全般について

- ・校長をはじめ教職員が地域とのつながりを持ったり、積極的に子ども達と関わったりしていることが全体的に良好な傾向に表れている。
- ・学力向上やわかる授業づくりに熱心に取り組んでくれていることが、参観した授業の様子及び子ども達や保護者のアンケート結果からも見て取れる。

○児童の様子について

- ・子ども達は普段から男女の仲が良く挨拶もよくしてくれている。全体として学校生活を楽しく過ごしているようだ。
- ・挨拶を学校の伝統として続けていってほしい。
- ・わからないことを聞いたり自分の悩みを伝えたり、子ども達に発信する力をつけてやってほしい。

○学校応援団「チームたまはた」について

- ・外部から学校を応援し、支えてくれる人たちを増やしていくことで、教職員の多忙化改善につながるのではないかと。
 - ➡習字の指導や組み立て体操の指導、環境整備、プールでの監視、ミシンでの裁縫、読み聞かせ、昔の遊びなど様々な学習で協力をお願いしてきた。子ども達のより深い学びや安全で安心な学習環境を守るためにも大変役立っている。
- ・募集方法については、学校だよりに掲載したり、回覧板で呼びかけたりすることで協力者が増えるのではないかと。また、児童の祖父母に呼びかけるとすぐ協力してもらえるのではないかと。
- ・保護者にどんな内容で学習ボランティアに参加できるか聞いていたころもあった。またそのような取り組みをしてみると、学校の役に立ちたいという気持ちを持った保護者を掘り起こせるのではないかと。

○防犯パトロールについて

- ・防犯ボランティアは、自分の孫や地域の子ども達を守りたいという思いから、できる範囲で行いたいという趣旨のものなので、参加を強いることはできない。今、防犯ボランティアをやっていた方が減っている。人の確保に課題がある。
- ・仲新居区では、登録者は12名で、他に自主的に参加してくれる人が3名いる。年齢的には69歳から上の方々が参加してくれている。予定していた人の都合がつかない場合は連絡を取り合いながら補いつけている。
 - ➡学校側としては日々お世話になっている方々を把握したいけれども、自治会によりその組織が異なりなかなか一人一人のお名前までつかみ切れていない現状がある。4月に開く「防犯パトロールを紹介する会」などでお名前をもらえるようにしたい。

○教育環境について

- ・今年度からエアコンがすべての普通教室で使えるようになり、暑い夏にも子ども達が快適な環境で学習できるようになってよかった。
- ・竜王地区の小学校には給食室があり温かい給食を食べられることは大変ありがたいことだ。

○多忙化改善について

- ・用務員さんがいないため、先生方の多忙化の原因の一つになっている。そこで、用務員さんがするような仕事を保護者にお手伝いさせてもらってもよいのではないかと考えている。
- ・先生方には本来の学習指導や子どもとのふれあいに多くの時間を確保していただきたい。
 - ➡実際、今年度PTA役員の方には草等を捨てる校庭の穴掘りをしていただいたり、保護者の方々には早朝環境整備作業をしていただきありがたかった。

○情報セキュリティについて

- ・スマホなどによるトラブルは本校でもあるのか。
 - ➡本校でも高学年でスマホによる行き違いからのトラブルはあった。保護者にはわからないように書き込みを削除していた。学校では毎年3～6年生の児童と保護者を対象に情報モラル教室を開催している。学校では使用を禁止していても買い与えるのは保護者なので、保護者にもスマホやインターネット等の危険についての意識を持ってもらいたいと考えている。
- ・中学生になるとスマホの機能などに関しては、子ども達の方が保護者の知識を上回っている現状があるので、保護者もある程度は学習しながらルール作りをしていかなければ、ルールが意味のないものになってしまう状況も見られるようだ。

○その他

- ・子ども達が何でも相談できる雰囲気を先生方により一層作っていただきたい。
- ・祭日や長期休業には子ども達も塾や習い事やスポ少があり、地域の行事になかなか参加できない現状がある。
- ・PDCAサイクルについての改善策の具体的方法は何か。
 - ➡学校では一つの活動しながら別の活動や日々の授業準備等様々なことが同時進行している。そういう状況から、なかなか振り返りの時間が取れていないのが現状である。そこで、簡単に記入し振り返りができるシートを用意しそれに記入することで活動をチェックできるように取り組みたい。

記載責任者（玉幡小学校 学校関係者評価委員） 河野 昭彦 印